

2022 年 1 月 30 日

2021 年度聖路加国際大学大学院看護学研究科
課題研究

論文題目：

発達障害の特徴がある看護師が基本的な看護実践能力を獲得するために効果的な教育支援に関するスコーピングレビュー

A Scoping Review on Effective Educational Support for Nurses with Characteristics of Developmental Disabilities to Acquire Basic Nursing Practice Skills

20MN032

若林 絵美

要旨

目的：発達障害の特徴がある看護師は一定数いるが、発達障害の特徴がある看護師への教育支援に関する研究は少ない。本研究の目的は、発達障害の特徴がある医療職及び医療職養成機関の学生への支援について文献検討を行い、発達障害の特徴がある看護師が臨床実践をする上で必須となる、基本的な看護実践能力を獲得するために効果的な教育支援を検討することである。

方法：医学中央雑誌 Web 版、PubMed、CINAHL Plus with Full Text、APA PsycInfo の検索データベースを用いてスコーピングレビューを行った。言語・検索開始時期・エビデンスレベルは制限せず、情報量が少ない種類の文献を除外した。発達障害の特徴がある医療職と医療職養成機関の学生に対する具体的な支援と支援後の経過を抽出して整理し統合した。

結果：84 文献が対象となった。860 コードの具体的な支援から、発達障害の特徴がある医療職及び医療職養成機関の学生に対する支援の要素として、22 カテゴリー、93 サブカテゴリーが抽出された。支援後の経過は 39 コードであったが、そのうち効果があると読み取れた支援は 9 コードであった。

考察：発達障害の特徴がある医療職及び医療職養成機関の学生への支援の要素のうち、22 カテゴリー、92 サブカテゴリーが発達障害の特徴がある看護師への教育支援として活用可能と考えられた。その中で、発達障害の特徴がある看護師が臨床実践をする上で必須となる、基本的な看護実践能力を獲得するために特に必要な教育支援は、【自分では気づけていない自己の特性や看護師としての知識・考え方に目を向けさせる】【取り扱いやすく視覚化することで対処しやすくする】【自己対処するための土台を整えて取り組みやすくする】【スキルや自己対処の自律化に向けた練習を促す】【自己の思考を表現するのを助ける】【実践時に人的な支援をする】【本人の特性に起因する問題を分析しニーズに応じた支援を検討する】【指導担当者と指導担当以外の人員が連携する】の 8 つであると考えられた。支援実施後の経過に関する記述は少なく、効果的な支援の検討は困難であった。

結論：発達障害の特徴がある看護師が臨床実践をする上で必須となる、基本的な看護実践能力を獲得するために特に必要な教育支援について検討し、8 つの支援が考えられた。しかし、効果的な支援の検討には至らなかった。今後の研究の中で発達障害の特徴がある看護師に関する実態調査や実践報告を行い、支援の現状や支援実績についての知見を蓄積していくことが必要である。